

六稜

江別市立大麻東中学校 学校だより

令和2(2020)年度 第 10 号

令和2年11月30日発行 校長 三浦 崇史



稜線

◆令和2年度の重点目標◆

自律する力を育てる

～優しさあふれる大麻東中学校～

<http://www.ebetsu-city.ed.jp/ohigasi-t/>

解決の道は1つではない……ということを考えさせる消毒液ポンプスタンド



職員玄関と各学年棟に、計4つの手作り消毒ポンプスタンドが設置されました。「手で触れずに手指消毒ができたほうがいい」「消毒ポンプスタンドは売ってはいるが、値段がとても高い」「仕組みを考えると、廃材でできるのではないか」……ということで、技術科の三宅教諭が自宅の工房で製作しました。(お金をかけない代わりに知恵と時間をかけてくれています。) 木材をメインに作っているので、なんとも温かみのある仕上がりです。

実は、「足を使ってポンプを押す」ことは共通していますが、4つそれぞれが違う作りになっています。「どうせなら、全部違う方法で作ってみようと思って」と楽しそうに話す三宅先生。さすが“ものづくり”的プロ、見事実現しました。

「この道しかない」という信念が必要なときもありますが、「複数の選択肢を考えてみる」「他の道も知った上でベストなものを選ぶ」ことが大切なときもあります。たいていのことは「この道がだめでも、別な道がある」ものなので、発想の多様性はしなやかな強さを生み出し、柔軟な思考は心身の健康を保ちつつ未来を切り拓く力につながります。……“1つの課題を解決する方法は1つではない”ことを教えてくれるポンプスタンドでした。



生徒玄関前の掲示板に並ぶ、木材を切り出して作られた力強い四字熟語。

こちらも三宅先生作です。今年の言葉は「勇往邁進」。大きな決断をして自分が選んだ道に進んでいく3年生への応援メッセージです。 →



TOPICS 11月

2年生総合的な学習の時間 講演会



16日(月)、2年生のキャリア学習としてJICAのボランティア講師を招き講演会を実施しました。2年生は例年行っている職場体験学習に代えて、講演会やDVD視聴を通して「働くこと、生きること」について学んでいます。講師の中島さんは現在大学生。中学生時代の先生の話がきっかけで青年海外協力隊に応募、グアテマラに派遣されました。帰国後は国際理解のため講師を引き受けています。「やってみたいことのリストにJICA海外協力隊が追加された」という感想もあり、新たな種がまかれる講演となりました。

5組 販売会～社会に生きる力を学ぶ



今年は市内合同の「ふれあい作品展」が実施できませんでしたが、校内の先生方を相手に5組生徒の販売体験を行いました。裁縫や木工の作業学習で製作した品物や、畑で収穫した大豆などを販売しました。パッケージにも工夫を凝らし、大豆にはレシピを付けるという素敵なお手本も。丁寧な言葉遣いと笑顔でお客様に接し、代金をもらってお釣りを返すやりとりもしっかりできました。事後学習も含め、販売体験を通して多くを学びました。

生徒総会～質問や意見を堂々と



19日（木）に生徒総会が行われました。選出議長による進行のもと、各学級から多くの質問・意見が出された後、前期の活動経過報告と、後期・令和3年前期の活動計画がそれぞれ承認されました。より良い学校生活のために真剣に生徒会活動を考える場となり、「学校の民主主義にとって、大切な場」（校長先生の話）であることを実感できる生徒総会になりました。生徒総会が終わると、新旧役員が完全に交代し、新役員が大麻東中生徒会の伝統を引き継いでいくことになります。



生徒会新役員	会長 ○○ ○○ さん	副会長 ○○ ○○ さん	副会長 ○○ ○○ さん
	書記長 ○○ ○○ さん	書記次長 ○○ ○○ さん	
	生活常任委員長 ○○ ○○ さん	学習常任委員長 ○○ ○○ さん	
	保体常任委員長 ○○ ○○ さん	文化図書常任委員長 ○○ ○○ さん	
	美化常任委員長 ○○ ○○ さん	放送常任委員長 ○○ ○○ さん	

非行防止教室

23日（月）に江別警察署から講師を派遣していただき、非行防止教室を行いました。飲酒、喫煙、薬物、SNSの危険性について話ををしていただきました。健康で安全な生活を送っていくために大切なことを、改めて確認する機会となりました。



24日（火）、1年生を対象に人権教室を行いました。当初グループワークでの教室を予定していましたが、コロナ対応型に変更し、弁護士による人権についての講演会となりました。「Only Oneであり、One of themである」……大勢の中の一人だが、かけがえのない自分である、ということを様々な例に基づいてお話しいただき、世界とつながっているということと、自分を大切にすることを、じっくり考える機会になりました。

校内研究授業を行いました



25日（水）に2年1組で技術の研究授業を行いました。本校では「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～学ぶ意欲を持ち、自ら考え表現できる生徒の育成～」という研究主題のもと、各先生が日々の授業実践に取り組んでいます。この日の授業では、ビニールシートで感染症対策を取りつつ、階段の電気のスイッチについてグループで協力して回路を考えました。難しい内容ながら、生活場面につなげて考えることで理解も深まり、充実した学習ができました。

苦渋の判断 合唱コンクールは中止

過日お知らせしたように、29日（日）に予定していた合唱コンクールは、感染防止策が十分とれないと判断し、中止しました。生徒にとって、一生懸命取り組んでいたものがストップしてしまうショックは大きかったと思います。皆で思い切り声を響かせる日が来ることを祈るばかりです。

おめでとうございます！

今年度は中体連としての新人戦は行られませんでしたが、競技団体主催で各種大会が行われました。(現在は新型コロナウイルスの感染状況が拡大してきたため、大会参加は慎重に判断、練習試合は一時停止としています。)また、文化的各種コンクールへの応募で入賞するなど、大いに力を発揮している東中生です。

〈管内新人戦〉

◆バドミントン部	石狩管内新人戦 女子団体 第2位
◆バレーボール部	石狩管内中学校バレーボール新人戦大会 第3位
◆○○ ○○ さん	剣道石狩管内新人戦 男子個人 第1位

〈1年生大会〉

◆女子バスケットボール部	江別市バスケットボール1年生大会 第2位
--------------	----------------------

〈各種コンクール〉

◆美術部 ○○ ○○ さん	札幌工業高校 庭のデザインコンクール 奨励賞
◆美術部 ○○ ○○ さん	全国美術部作品展 アートグランプリ in Sakai 佳作
◆美術部 ○○ ○○ さん	全国美術部作品展 アートグランプリ in Sakai 佳作
◆○○ ○○ さん	税についての作文札幌東地区納税貯蓄組合連合会会長賞

12月 の行事予定

★スクールカウンセラーの相談日

12月7日(月)・21日(月)を予定しています。



日	曜	行 事	日課	給食	部活	放課後学習
1	火	三者懇談③	4時間	○	○	
2	水	三者懇談④	4時間	○	○	
3	木	三者懇談⑤	4時間	○	○	
4	金		6時間	○	○	
5	土				○	
6	日				○	
7	月		6時間	○	○	
8	火		6時間	○	○	1年
9	水	職員会議 南地区資源回収日	5時間	○	休養日	
10	木		6時間	○	○	2・3年
11	金	北地区資源回収日	6時間	○	○	
12	土	土曜授業(6時間)	6時間	弁当	○	
13	日				○	
14	月	職員室入室制限～17日	6時間	○	○	
15	火		6時間	○	○	1年
16	水	職員研修	5時間	○	休養日	
17	木	3年生学年末テスト①(4教科)	6時間	○	○	2年
18	金		6時間	○	○	
19	土					
20	日					
21	月	大掃除 職員会議	6時間	○	休養日	
22	火		6時間	○	○	1・3年
23	水	休み前集会	6時間	○	○	
24	木	冬季休業(～1/12) 冬季学習会			○	
25	金				○	
26	土				○	
27	日				○	
28	月				○	
29	火	学校閉校日			休養日	
30	水	学校閉校日			休養日	
31	木	学校閉校日			休養日	

★資源回収へのご協力ありがとうございます。★

10月収益 6,738円、11月収益 5,578円でした。

INFORMATION

全国学力学習状況調査～自校実施結果について（調査対象：3年生）

今年度は全国的な実施は中止になったため、全国平均等との比較はできませんが、結果から見える特徴と改善策についてお知らせします。今後はこの結果を踏まえ、生徒の学習意欲と確かな学力の向上に向けて、さらに学校の教育計画や授業の改善に取り組んでいきます。

1. 国語・数学の学力状況について

(1) 現状と課題

国語 ○全領域で確実な学習内容の定着が図られています。特に「言語についての知識・理解・技能」で正答率が高く、漢字や歴史的仮名遣いの問題では正答率が100%でした。

●「書く」領域では他領域に比べ正答率が低く、自分の考えを条件に基づいて表現することが課題です。ただし、無答率は低く、課題に取り組む意欲の高さがわかります。

数学 ○全領域について、バランス良く学習内容の定着が図られています。例年落ち込みが見られる「関数」についても、他領域と同程度の正答率となりました。

●やや弱さが見られるのは「数学的な見方や考え方」で、数学的な説明を要する記述問題では無答も多く見られました。

(2) 改善策

◆国語では現在行っている言語事項に関する小テストや、「話す・聞く」のトレーニングにより他の意見を聞くとともに自分の考えを明確にすること、「書く」機会の保障による伝わる表現力の育成を継続していきます。

◆数学では、解法の説明を生徒自身にさせる機会を工夫し、既習事項を活用する力を育てます。また習熟度別少人数学習の効果的活用や、放課後サポート学習の実施により、個々の状況に応じた支援を充実させていきます。

◆全教科において、見通しを持たせ、振り返りにより学習内容を定着・深化させる授業改善を継続します。また、新型コロナウイルス感染症対策の観点から実施が制限されていた「交流・発表」について、方法を工夫して進めることで主体的・対話的で深い学びの実現を図ります。

2. 生徒質問紙の回答結果から

(1) 特徴的なこと

◇学校での出来事や進路について、親と話をしている生徒は約80%と会話が充実しています。

◇学校の規則を守り、人が困っているときは進んで助ける生徒が約90%と誠実な様子が見えます。

◇自分にはよいところがあると考える生徒は65%、将来の夢や目標を持っている生徒は60%と、いずれも昨年と同程度でした。

◇1日にPCやスマホ等でゲームに2時間以上費やす生徒が44%、4時間以上の生徒も10%、ゲーム以外でメールやインターネットに2時間以上費やす生徒が34%と、その他テレビ・ビデオの時間を含め、メディアに接する時間の長さが際立っています。（合計8時間以上になっている生徒もいます。）

(2) 改善策

◆日常の係活動や授業、行事等において、自分の役割を担い、達成する機会をつくるとともに、多様な他者を認められる学校文化の醸成に努め、自己有用感の向上を図ります。

◆いじめ根絶に向けた生徒会による主体的な取組や、学級での話し合い活動の充実により、「自律する力を育てる～優しさあふれる大麻東中学校～」をこれまで以上に浸透させます。

◆生徒向け・保護者向けのネットトラブル防止教室の実施や、ネット依存・ゲーム依存防止の啓発を充実させ、健全な生活習慣の構築を図ります。